

- and Unsolved Problems, ed. by A. Cazenave, 229-240, D. Reidel Publ. Co.
- Stefanick, M., 1982: Interannual atmospheric angular momentum variability 1963-1973 and the southern oscillation, *J. Geophys. Res.*, **87**, 428-432.
- Stephenson, F.R. & L.V. Morrison, 1984: Long-term changes in the rotation of the Earth: 700 B.C. to A.D. 1980, *Phil. Trans. R. Soc. Lond.*, **A313**, 47-70.
- Wahr, J.M., 1982: The effects of the atmosphere and oceans on the Earth's wobble-I. Theory, *Geophys. J.R. astr. Soc.*, **70**, 349-372.
- , 1983: The effects of the atmosphere and oceans on the Earth's wobble and on the seasonal variations in the length of day-II. Results, *Geophys. J.R. astr. Soc.*, **74**, 451-487.
- & A.H. Oort, 1983: Friction- and mountain-torque estimates from global atmospheric data, *J. Atm. Sci.*, **41**, 190-204.
- , T. Sasao & M.L. Smith, 1981: Effect of the fluid core on changes in the length of day due to long period tides, *Geophys. J.R. astr. Soc.*, **64**, 635-650.
- Wilson, C.R. & R.A. Haubrich, 1976: Atmospheric contributions to the excitation of the Earth's wobble, 1901-1970, *Geophys. J.R. astr. Soc.*, **46**, 745-760.
- & L. Hinnov, 1985: Water storage effects on the earth's rotation, *Proc. Int. Conf. on Earth Rotation and Terrestrial Reference Frame*, 484-489, Ohio State Univ., Columbus.
- Yoder, C.F., J.G. Williams & M.E. Parke, 1981: Tidal variations of earth rotation, *J. Geophys. Res.*, **86**, 881-891.

## 講演企画委員会からのお知らせ「スペシャル・セッション」試行について

気象学会大会のセッションは、ほぼ「内容の分類」に従って編成されています。この分類は一般的な分野別になっており、セッションの内容もだいたい毎回同じ構成になっています。

前回の講演企画委員会で、「討論を活発にするためには、特定のテーマに関心のある人が呼びかけ人となり、そのテーマの発表を募って1セッションを開くこともあった方がよいのではないか」という意見が出されました。議論の結果、このようなセッションを「スペシャル・セッション」と名づけ、次の要領で試行することになりました。

1. 通常の口頭セッションと同様、3会場の1つで開催する（他の2会場では一般の口頭セッションが並行して行われる）。
2. 1講演当たりの時間も通常の口頭セッションと同程度とする。
3. 発表申し込み方法も他のセッションと同様である（「内容の分類」のところにセッション名が追加されるので、スペシャル・セッションでの発表を希望する人はこのセッション名を指定して申し込む）。
4. セッションのプログラム編成は、呼びかけ人がプログラム編成会議（原則として締め切り日の翌日）に出席し講演企画委員会と協議して行う。それが困難な場合は講演企画委員会が行う。

今年度の秋季大会では「地表面・大気相互作用」のセ

ッション（下記参照）が行われます。また来年以降継続して行うことが決まれば、その段階でテーマと呼びかけ人を募集します。

### スペシャル・セッション「地表面・大気相互作用」

趣旨：気候の問題を考える上で、地表面状態と大気の状態との間のフィードバックが重要である。その研究には従来は別々の専門領域に属していた研究者の協力、意見交換が必要である。そこで、次のような話題を集めて討論を深めたい。

- ・地表面と大気間のエネルギー・物質・運動量の交換
- ・地表面からの入力に対する大気の応答
- ・大気からの入力に対する地表面状態の応答
- ・（大気との相互作用に関連する）地表面状態の変動の実態およびモデル

ここで言う地表面としては、裸地、植被面（森林、草原、農地）、海面・湖沼面、雪氷面などを含み、またこれらの表面が複雑に混在する場合の問題、複雑地形の問題も含む。個々の研究は局地的なものでもかまわないが、グローバルな気候の形成・変動を考えることへの発展性のある話題提供を期待したい。

発表形態：口頭発表

呼びかけ人：増田耕一（東大・理）、桑形恒男（東北大・理）